2025年12月11日

第39回大会振り返りおよび第40回大会開催に向けたアンケート結果報告書

第40回全国中学校高等学校オリエンテーリング選手権大会実行委員会

1. はじめに

本報告書は、第39回大会参加者を対象に実施したアンケートおよび第40回大会の日程に関するヒアリング調査の結果をまとめたものである。いただいたご意見は、次回大会の質の向上および適切な日程設定の参考とさせていただく。情報共有の課題については、実行委員会として伝達手段の周知不足を認識しており、第40回大会の要項発表に先立ち、改めて情報発信方法を中高連Slack上で周知する方針である。

2. 第39回大会に関するフィードバック

【競技面】

コース・テレイン: 地図やコースはおおむね好評で、直前のテレイン変更（熊出没による）にも関わらず、植生が見やすく楽しめたとの声があった。一方で、JMEクラスの難易度向上や、個人・団体戦のエリア分けへの要望も寄せられた。

スタート・運営: 1分間隔のスタートによる選手のテレイン内での過密状態や、団体戦マススタート時の列の並び順（A/Bチームの分離）、フィニッシュレーンの管理について改善要望があった。

その他: 磁石付き熊鈴によるコンパスへの影響が報告された。

【運営面】

広報・情報共有: 重要な連絡（参加者名鑑の募集やエントリーシート等）がX（旧Twitter）のみで発信されたり、公式サイトへの掲載が不足していたりした点について、リスク管理および公平性の観点から改善を求める強い意見があった。

参加費: 参加費が高額であり、出場を断念した部員がいたとの指摘があった。

その他: 宿舎の斡旋要望や、シャトルバスの乗車方式（先着順か指定か）の事前周知に関する要望があった。全体としてはスムーズな運営やスタッフの対応が好評であった。

3. 第40回大会日程および開催形態に関する調査結果

【学校行事等の状況（8月後半～10月）】各校より以下の行事予定・懸念事項が挙げられた。

9月～10月: 多くの学校で文化祭、体育祭、修学旅行、定期考査が集中する。

その他: 全日本大会や他クラブの新人戦、3年生の受験勉強（夏休みまでが限界）などが考慮事項として挙げられた。

【開催時期への要望】

夏休み期間（8月中）の開催希望: 最も要望が多く、主な理由は以下の通りである。

9月・10月は学校行事（文化祭・試験・旅行）や新人戦と重なり、参加が困難である。

3年生が受験のため引退する時期である。

秋開催の場合、全日本大会等の主要大会と時期が近接し、選手の負担が大きい。

その他の要望:

熱中症リスクを考慮し、夏開催の場合は高原など標高の高い場所での開催が望まれる。

選手権クラスの選考大会を、一年生への機会提供のため遅めの時期（6月中旬～7月下旬）に開催してほしいとの要望があった。

以上